

みさくぼ

10月

文化会館だより
水窪協働センター 生涯学習グループ

— 第54号 —
令和元年
10月20日



水窪文化会館だよりは、市ホームページでも公開しています。
フルカラーバージョンです。ぜひ、ご覧ください。
浜松市ホームページ▼ 水窪文化会館だより
※下のコードからもアクセスできます。

検索

峠の国盗り綱引き合戦迫る—— 合戦に先立ちプレ大会



10月27日（日）に開催される峠の国盗り綱引き合戦に先立ち、10月6日（日）にプレ大会として「みさくぼふれあい綱引き大会」が開催されました。小学生の部に2チーム、一般の部に8チームが参加し、綱引きを通して交流しました。峠の国盗り綱引き合戦に向けて、合戦に参加するメンバーは水窪グラウンドで練習を重ねています。今年も遠州軍の勝利を願って、応援しましょう！

本格的な秋の訪れを感じる今日この頃です。秋は、「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」とさまざまな活動に取り組むのに良い季節です。水窪文化会館やスポーツ施設をぜひ、ご利用ください。秋の夜長には、読書もいかがでしょうか。水窪図書館も、ぜひご利用ください！

秋は文化会館・スポーツ施設・図書館をご利用ください

文化会館 開催講座 など

トリック・オア・トリート お化けに^ぼ変身!^{へんしん}



10月26日 土

身近にあるもので作った衣装を着て、
商店街をパレードします。
お楽しみに!

場所 水窪文化会館 視聴覚室

午後1時30分～3時 衣装づくり

午後3時～ 商店街をパレード

協力

小松屋製菓 鈴木呉服店
スーパーまきうち

問い合わせ 水窪文化会館 ☎982-0013



水窪文化会館 シニア向け講座

紅葉観察会 野鳥の森

NPO法人「山に生きる会」の案内で、「野鳥の森」を散策します。初心者向けのコースです。

日時

10月30日[水]

午後1時～午後4時30分

集合場所 国盗り横 駐車場
(午後1時 集合・出発)

行先 野鳥の森

持ち物 飲み物、防寒着など

参加料 100円 (保険料として当日徴収)
定員 15名 (先着順)
申込み 10月23日(水)までに電話
または直接、①氏名 ②電話番号
③住所を水窪文化会館へ

※参加者が6名以下の場合は中止とします。

※雨天中止。中止の場合は電話で連絡します。



星空観望会

月、惑星、星雲、銀河などを見ることができます。
お気軽にお越しください。

開催日 11月14日(木)

午後7時～9時

会場 水窪文化会館 天体観測ドーム

対象 子供から大人まで

※小学生以下の参加は保護者同伴でお願いします。

※申込不要、入場無料、
開催時間内で出入り
自由



水窪文化会館に皆さんの作品を展示しませんか。

水窪文化会館では、1階ホワイエ（入口正面）に地域の皆さんの作品展示スペースを設けます。趣味で取り組んでいる絵画・書道・陶芸・工芸・写真などを地域のさまざまな人に見てもらう機会として、ぜひご利用ください。作品のジャンルに制限はありません。展示を希望する人は、水窪文化会館まで、お気軽にご相談ください。（☎982-0013）

※グループでも個人でも、ご応募できます。

※希望が集中した際など、ご希望に沿えない場合があります。ご理解をお願いします。

例えば…

趣味で作った作品がたくさんあるから、みんなも誘って一緒に展示してみようかな…



ぜひ、ご相談ください！



募集中!!
皆さんの応募をお待ちしております。



10月27日～11月9日は読書週間です！



10月27日（日）～11月9日（土）は第73回「読書週間」です。

この機会に様々な分野の本を読んでみてはいかがでしょうか。水窪図書館では、市内の他の図書館の本も予約・取り寄せができます。

皆さんにぴったりの一冊を探しに、ぜひ、水窪図書館へお越しください！

「読書週間」とは… ?

終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

（引用：公益社団法人 読書推進運動協議会ホームページ）